

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	がん疼痛緩和におけるタペンタドールの効果についての検討 ―従来のオピオイドとの比較―		
2. 対象患者	当院でがん疼痛緩和におけるタペンタドールを内服した患者、当院でがん疼痛緩和を施行されタペンタドール以外のオピオイドを内服した患者		
3. 対象となる期間	H22年 4月 1日 ~ H29年 6月 30日		
4. 実施診療科等	麻酔科		
5. 研究責任者	氏名	矢越 ちひろ	所属 麻酔科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	タペンタドールは、 $\mu$ 受容体作動作用とノルアドレナリン再取り込み阻害作用を有するため神経障害性疼痛にも有効とされるほか、従来のオピオイドに比べて $\mu$ 受容体への作用が少ないため、眠気や消化器症状などの副作用を抑えられるという特徴があります。これらについて他のオピオイドと比較し、その効果や副作用を明らかにし提示することは大変意義のあることだと考えています。		
8. 研究の目的	がん疼痛に対するタペンタドールの鎮痛効果や副作用を検討することで、適応や安全性を考察します。より副作用が少なく安全で鎮痛効果が高いものは、患者様への大きな利益となります。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	当科で保存している平成22からの診療記録より、タペンタドール使用の有無で患者を2群に分けます。評価項目は初診時のNumerical Rating Scale(以下NRS)、投与開始量、オピオイドナীবか否か、投与前に使用していたオピオイド、使用した際の痛みの性状、最終投与量、最終投与量までの日数、最終投与量となった時点でのNRS、副作用、他の鎮痛方法(神経ブロック、放射線療法)の併用の有無、鎮痛補助薬の使用の有無などです。 統計学的検討はt検定を用いて検討します。		
10. 個人情報の保護	本研究で取得された情報は、個人が特定されないよう配慮し、本研究以外での使用はされません。また、研究期間中から研究後まで、個人のプライバシーが守られるようデータを保管し、個人が特定されないよう十分配慮いたします。研究内容公開後に申し出があった場合、対象事例は除外されます。		
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座		
	電話	0172 - 39 - 5113	FAX 0172 - 39 - 5112